

### 施工業者様へ

- 施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- ウォシュレット専用便器洗浄ユニットは別包装となります。(オート便器洗浄付の場合)

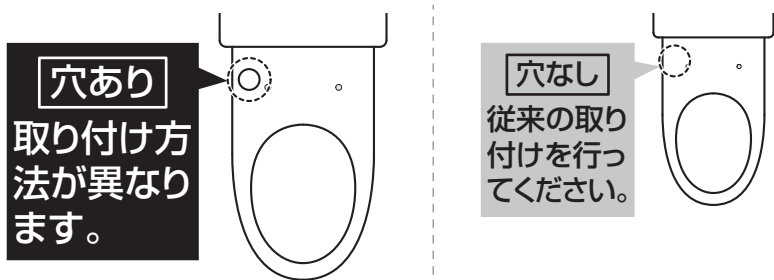


ウォシュレット本体

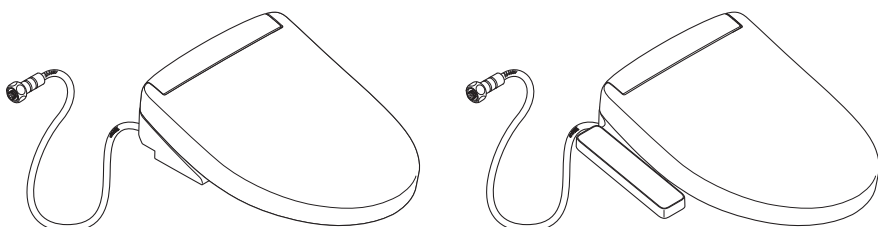
ウォシュレット専用  
便器洗浄ユニット

- 便器によって、取り付けかたが異なります。便器に応じて取り付けを行ってください。

→P.6 **2** ウォシュレット本体の取り付け — **2** Step1 便器の確認 へ



### ウォシュレット本体



リモコン付の場合

リモコンなしの場合

いずれの製品も取付方法は同じです。  
この施工説明書は、リモコン付の場合のイラストで説明しています。

安全上のご注意	2
取り付け前のご注意	3
取り付け前の確認	4
同梱部品	4
別包装部品	4

<b>1</b> 分岐金具の接続	5
<b>2</b> ウォシュレット本体の取り付け	6
<b>3</b> アース線、電源プラグの接続と確認	8
<b>4</b> リモコンの取り付け (リモコン付の場合)	9

試運転	10
-----	----

給水フィルター付水抜栓の掃除 (試運転後)	11
-----------------------	----

製品引き渡しまでの期間が長い場合	裏表紙
------------------	-----

施工業者様へ	裏表紙
--------	-----

施工説明書内のイラストなどは、  
実際の商品と異なる場合があります。

はじめに

取り付けかた

試運転他




# 安全上のご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。



 <b>警告</b>	死亡や重傷を負う可能性がある内容です。	 <b>注意</b>	傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。
--	---------------------	--	-------------------------

## 絵表示の例

	してはいけない「禁止」の内容です。		必ず実行していただく「強制」の内容です。
---	-------------------	---	----------------------

 <b>警告</b>	
 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)</li><li>●指定する電源 (交流 100 V) 以外では使用しない (火災や発熱の原因になります。)</li><li>●電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまままで使用しない (火災や感電の原因になります。)</li><li>●飲用可能な水以外は使わない (故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)</li><li>●コンセントは給水位置の真下に設置しない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)</li><li>●給水ホースは電源プラグ・コンセントに接触させない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)</li><li>●車輻・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、ショート、故障などの原因になります。) (便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。)</li></ul>
 <b>必ず実行</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。)</li><li>●アース (D 種接地) を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)</li></ul>

## ⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>● 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)</li><li>● 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない (水漏れの原因になります。)</li><li>● 止水栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない (水が噴き出します。)</li></ul>
 必ず実行	<ul style="list-style-type: none"><li>● 施工は施工説明書に従って確実にを行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)</li><li>● ウォシュレット本体は、ベースプレートに確実に押し込む 「カチッ」と音がするまで押し込んだ後、軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。 (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)</li><li>● 給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは、確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)</li><li>● 電池の+-表示をよく確かめて入れる*1 (電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)</li><li>● 長時間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく*1 (電池の液漏れの原因になります。)</li><li>● クイックファスナーの取り付けを確実にを行う (正しく取り付けないとクイックファスナーがはずれて水漏れの原因になります。)</li></ul>

\*1 リモコン付のみ

## 取り付け前のご注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも、必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。

※旧型のベースプレートではウォシュレットの取り付けができません。

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
  2. 便器に取り付ける前に、通電しないでください。  
故障の原因になります。
  3. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
  4. 定格15 A以上、交流100 V (50/60 Hz) の埋込アースターミナル付コンセントを単独で使用してください。  
(電源や定格消費電力は、ウォシュレット本体のラベルに記載しています。)
  5. 自家発電装置などから電源を供給すると、正常に作動しない場合があります。
  6. 電源コードの長さは約1 mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
  7. 給水圧力範囲は0.05 MPa (流動時) ~0.75 MPa (静止時) です。この圧力範囲でご使用ください。
  8. 給水温度は0~35 °Cです。この温度範囲でご使用ください。
  9. 同梱以外の分岐金具、パッキンを使わないでください。
  10. オート便器洗浄付の場合…必ずウォシュレット専用便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレット本体をセットしてください。※施工のしやすさ、キズ防止のため。
- ※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

# 取り付け前の確認

下記の場合はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへご連絡ください。  
TEL ☎ 0120-8282-55 FAX ☎ 0120-8272-99

※仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## 他社製便器に取り付ける場合

便座取付穴の深さと径が右表の場合は、同梱のベースプレート固定部材だけで施工しないでください。  
ウォシュレット本体のはずれ防止のための専用部材をご購入ください。

便座取付穴		品番
深さ(mm)	径	
36以下	φ19~21	TCA312
36~80	-	TCA310
70~110	(測定不要)	

## 給水ホースの長さが不足の場合

給水ホースの長さは約750 mmです。  
給水取り出し位置は、ウォシュレット本体が着脱できる余裕を設けてください。  
もし、給水ホースの長さが足りない場合は、右表の中から適切な長さのホースをご購入ください。

給水ホース長さ違い一覧表	
給水ホース長さ(mm)	品番
600	TCA524
1480	TCA525
1980	TCA526

## 止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合

別売品の分岐金具(品番:TCA158)をご購入ください。

## 右給水の隅付タンクへ接続する場合

給水ホースの長さが足りません。  
別売品の中継金具(品番:TCA58R)をご購入ください。

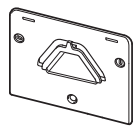
## 給水コンセントへ接続する場合

別売品のアダプタ(品番:TH778S)をご購入ください。

# 同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。

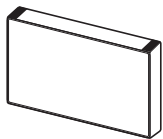
### リモコン部品 (リモコン付のみ)



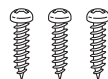
ハンガー



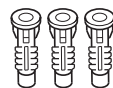
乾電池  
(単3形×2個)



リモコン

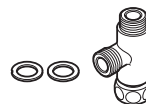


ねじ  
(3本)



アンカープラグ  
(3本)

### 分岐金具



パッキン2枚

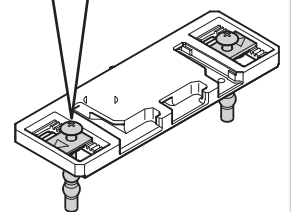
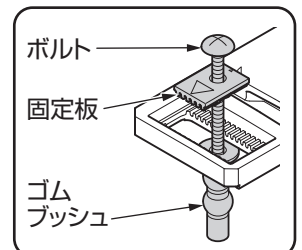
(施工タイプにより  
1枚しか使用しない  
場合があります。)

### 印刷物



### ベースプレート一式

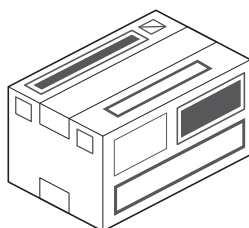
※分解しないでください。



# 別包装部品

### ウォシュレット専用便器洗浄ユニット

(オート便器洗浄付のみ)



※リモコン用「流すボタン」も  
同梱されています。

(取付説明書付)



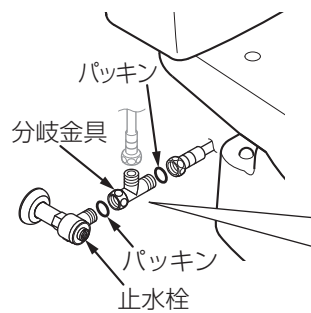
# 取り付けかた

- 機種によっては製品の形状などが異なります。
- 分岐金具・パッキンは必ず同梱のものを使用してください。

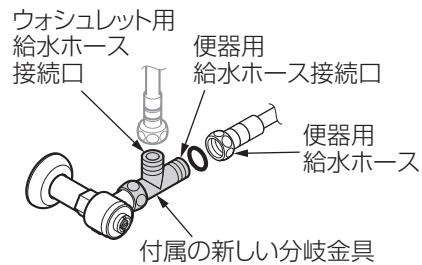
## 1 分岐金具の接続

### 1 止水栓を閉める

### 2 分岐金具を接続する



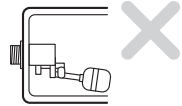
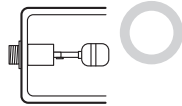
給水ホースの接続口を間違えない  
●水漏れの原因になります。



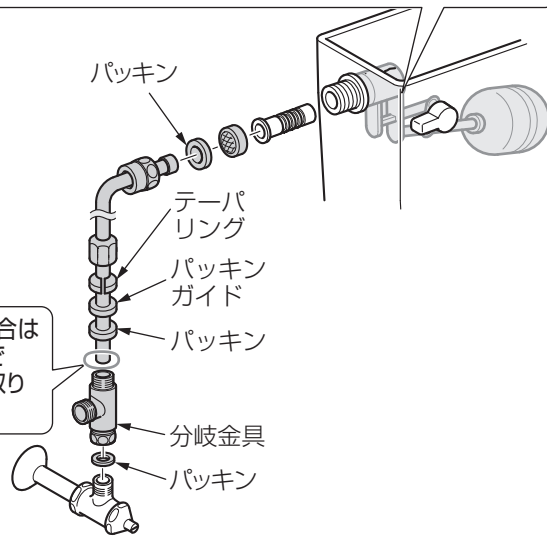
### タンク側面から給水管(またはホース)が出ているタイプの場合

#### 注意

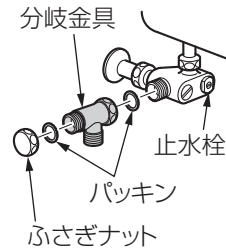
タンクの真上から見たボールタップ



●止水不良の原因になります。

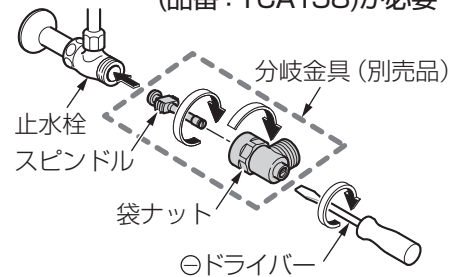


### ワンピース便器へ接続する場合



### 止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合

●別売品の分岐金具 (品番: TCA158)が必要



## 2 ウォシュレット本体の取り付け

●ベースプレートは必ず同梱のものを使用してください。

### 1 ベースプレートを取り付ける

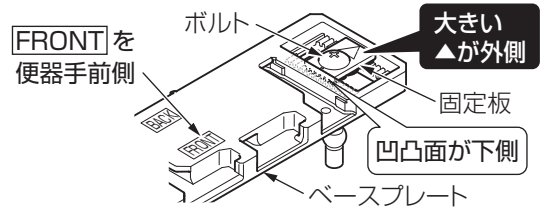


①ベースプレートのボルト取付位置を調整する

便器のサイズ		ボルトの標準取付位置	
	約440 mm (レギュラー)		<b>一番前側</b> に合わせる
	約470 mm (エロンゲート)		<b>前側より5凹後ろ</b> の位置に合わせる

②便器にベースプレートを仮固定する

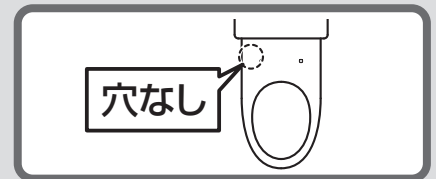
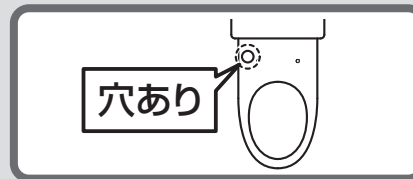
- ベースプレートが動かなくなるまで、ボルトを締めてください。



### 2 下記の内容を確認する

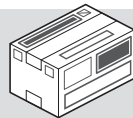
#### Step 1

便器の確認



#### Step 2

別包装部品の確認



ウォシュレット専用  
便器洗浄ユニット

あり

なし

あり

なし

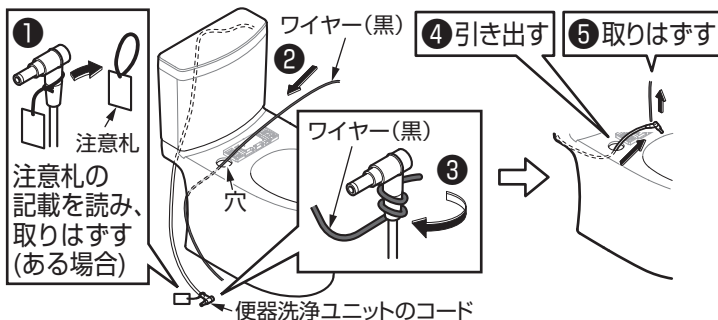
3へ

4へ

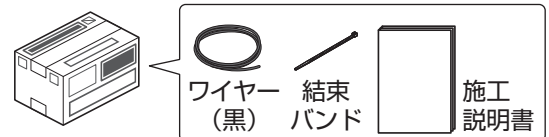
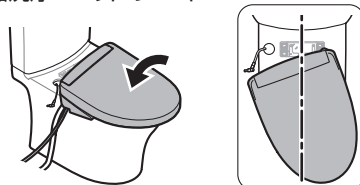
5へ

### 3 便器洗浄ユニットのコードを便器の穴に通す (便器洗浄リモコン付の場合)

①ワイヤー(黒)を便器の穴に通し、便器洗浄ユニットのコードを引き出す

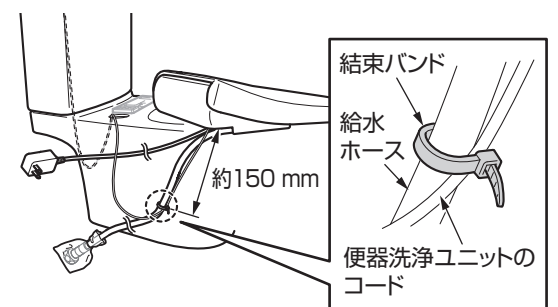


②ウォシュレット  
本体を便器の  
上に仮置きする

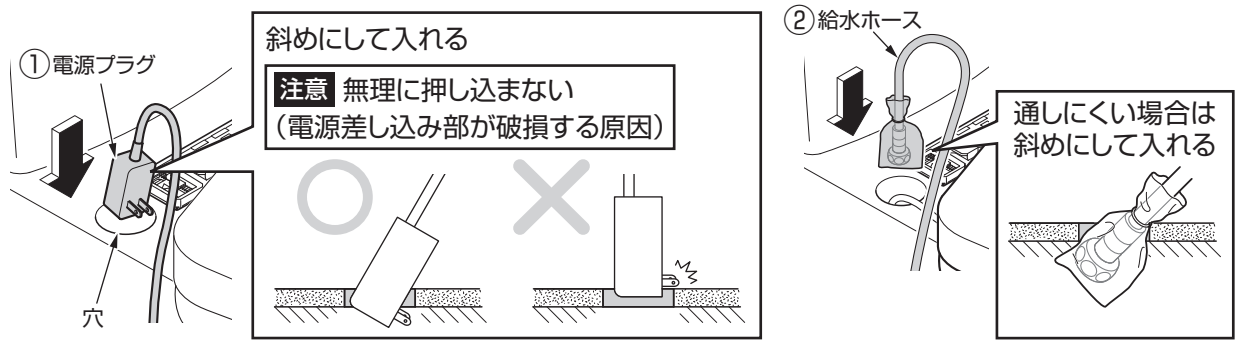


③便器洗浄ユニットのプラグを接続する  
→便器洗浄ユニットの施工説明書を  
ご覧ください。

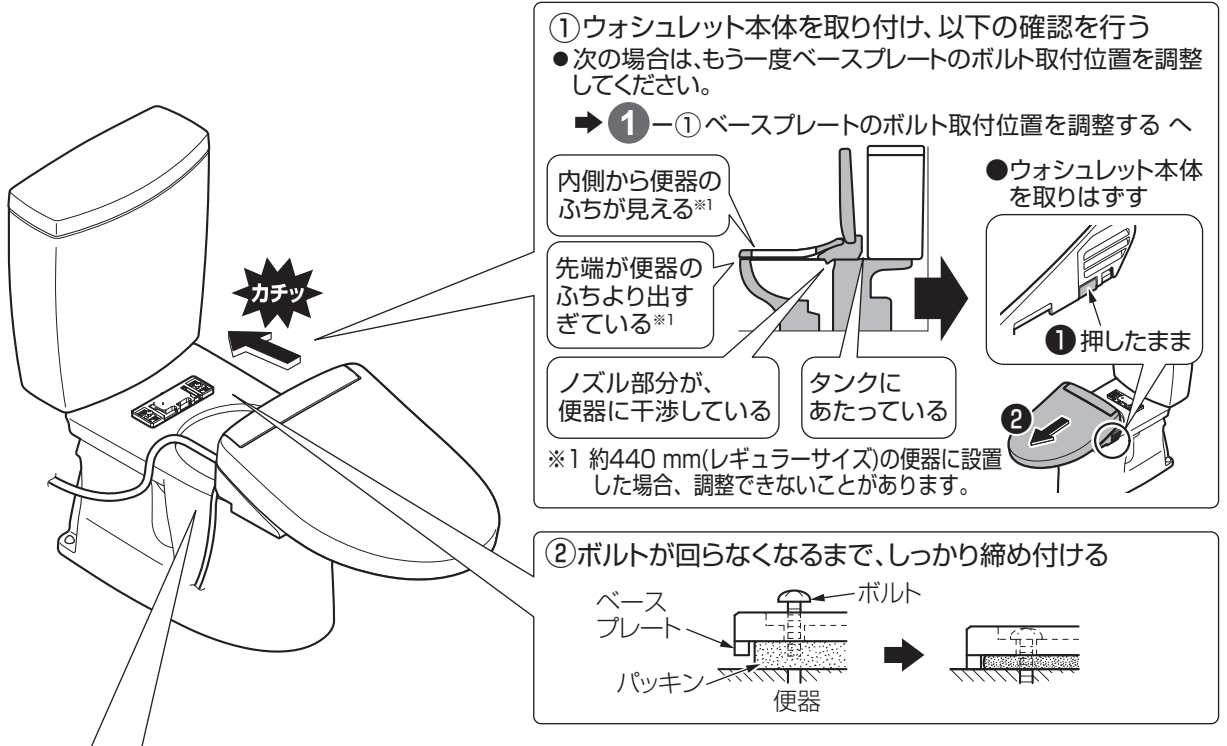
④給水ホースと便器洗浄ユニットのコードを  
結束バンドで固定する



## 4 便器の穴に①電源プラグ、②給水ホースの順で通す



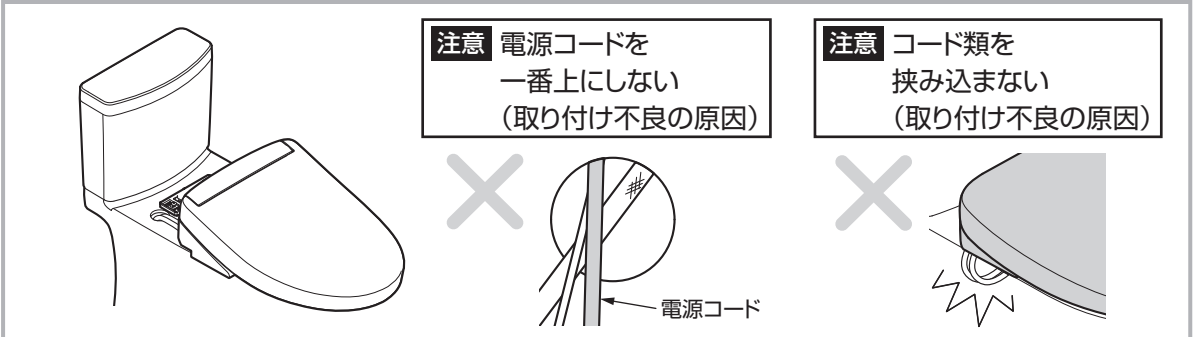
## 5 ウォシュレット本体を取り付ける



### ③ウォシュレット本体を取り付ける

※手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

#### 便器に穴がある場合



## 2 ウォシュレット本体の取り付け(つづき)

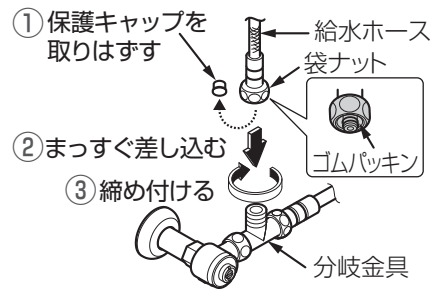
### 6 給水ホースを接続する

#### ⚠注意

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、  
カッターなどで傷つけない  
(水漏れの原因になります。)

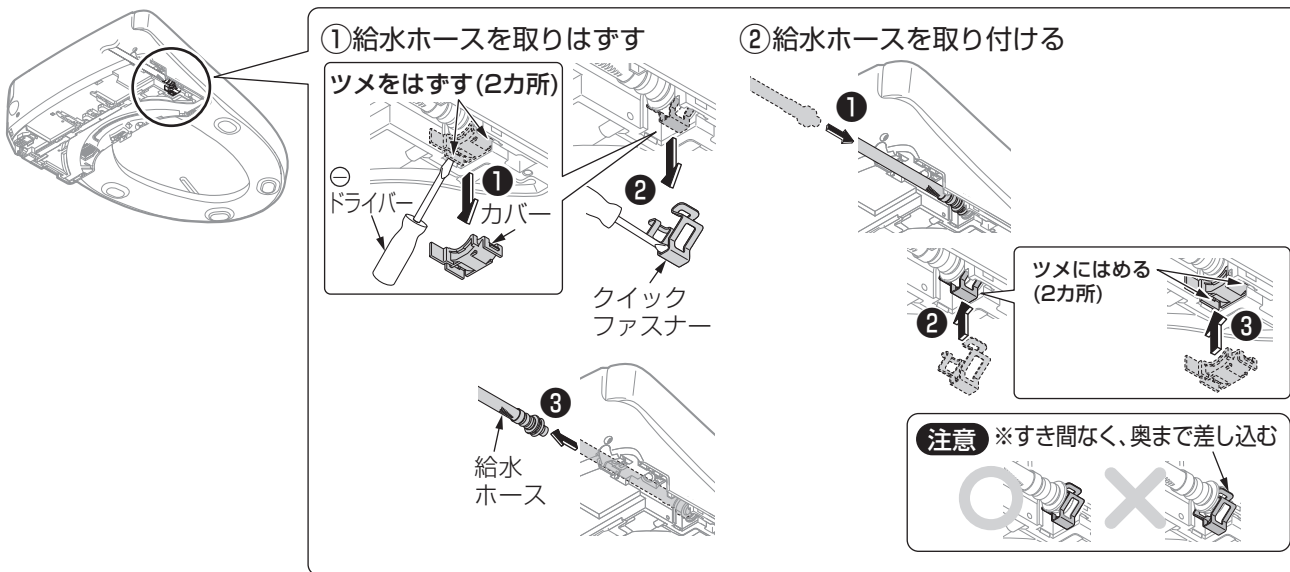
#### 便器に穴がない場合

給水ホースはタンクの後ろに収めてください。

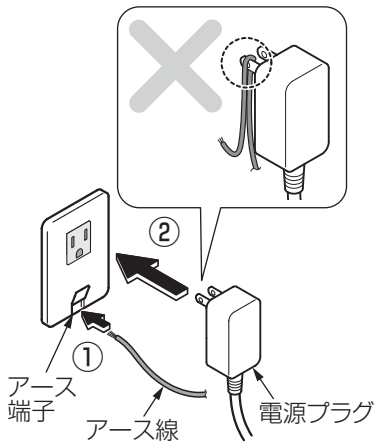


取り付けた状態でウォシュレット本体が着脱できないときは、適切な長さのホースをご購入ください。  
→P.4 給水ホースの長さが不足の場合 参照

#### 長さ違いの給水ホースを取り付ける場合

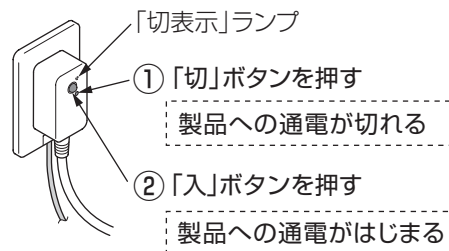


## 3 アース線、電源プラグの接続と確認



●ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

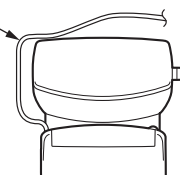
●電源プラグの作動確認をする



「切表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。

#### コンセントが電源コードの反対側にある場合

電源コードは  
タンクの  
裏側から通す



## 4 リモコンの取り付け(リモコン付の場合)

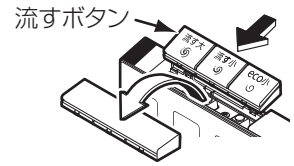
1

オート便器洗浄付の場合

### 流すボタンの取り付け

ウォシュレット専用便器洗浄ユニットに  
同梱の取付説明書に従い、流すボタンを取り付ける

リモコンには、流すボタンが取り付けいていません。必ず取り付けてください。

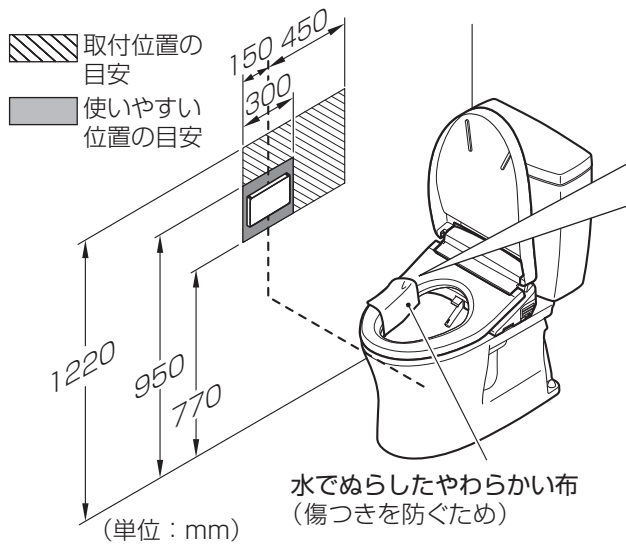


2

リモコンに乾電池を入れる

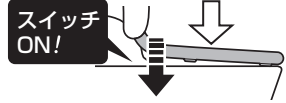
3

取付位置を決める



#### 【作動の確認】

- 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる (③まで着座スイッチを入れたままにしておいてください。)
- 「おしり」ボタンを押してノズルが伸出することを確認する
- 「止」ボタンを押す



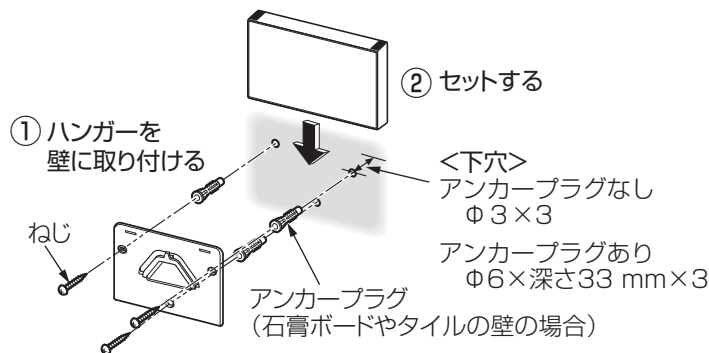
#### 作動しない場合

- リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認
- ※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。
- 室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
  - 天井や壁の色(黒っぽい場合)・形状・材質などの条件が合わないとき
  - 後ろ壁に棚やキャビネットなどがあるとき
  - インバーター方式の照明下のとき

取り付けかた

4

ハンガーの取り付け



5

オート便器洗浄付の場合

便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。

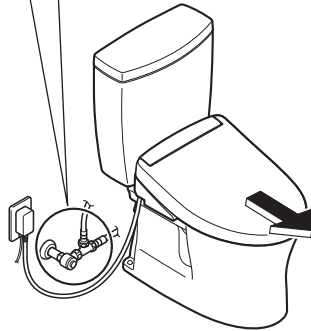
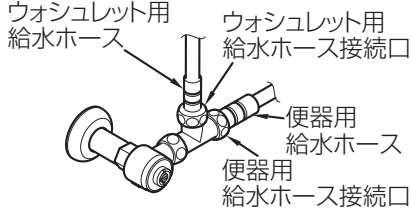
設定方法はウォシュレット専用便器洗浄ユニットに同梱の施工説明書をご覧ください。

# 試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

●試運転の前および試運転完了時は必ず電源プラグが、コンセントに差し込まれていることを確認してください。  
(ウォシュレット本体表示部またはウォシュレット本体操作部の「運転」ランプが点灯します。)

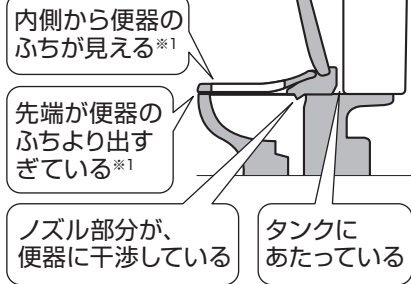
## 1 ウォシュレット本体の確認

□ 給水ホースは正しく接続されていますか



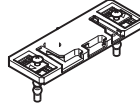
□ 手前に引っ張ったとき、ウォシュレット本体がはずれませんか  
→ウォシュレット本体を、ベースプレートに「カチッ」と音がするまで押し込む

□ 以下に当てはまりませんか



※1 約440 mm(レギュラーサイズ)の便器に設置した場合、調整できないことがあります。

□ 同梱部品を使用していますか



ベースプレート

※従来のものと形状が異なるため、作動不良の原因になります。

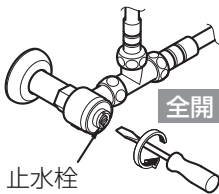


分岐金具

※従来のものとシール方法が異なるため、水漏れの原因になります。

## 2 機能の確認

□ 止水栓を開ける



止水栓

□ 水漏れチェック  
→水漏れる場合

□ 同梱部品を使用していますか

◎ ◎ (施工タイプにより1枚しか使用しない場合があります。)  
パッキン 2枚  
※新しいものを使用しないと、水漏れの原因になります。



□ 運転ランプが点灯していますか

ウォシュレット本体表示部      ウォシュレット本体操作部



〈リモコン付の場合〉



〈リモコンなしの場合〉

□ ノズルから洗浄水が出ますか

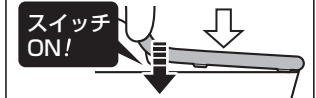
① 水でぬらしたやわらかい布 (傷つきを防ぐため)

④ 「おしり」ボタンを押す

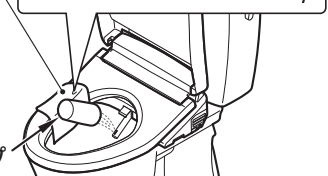
⑤ 手を便座からはなす

【作動の確認】

② 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる



③ 紙コップ



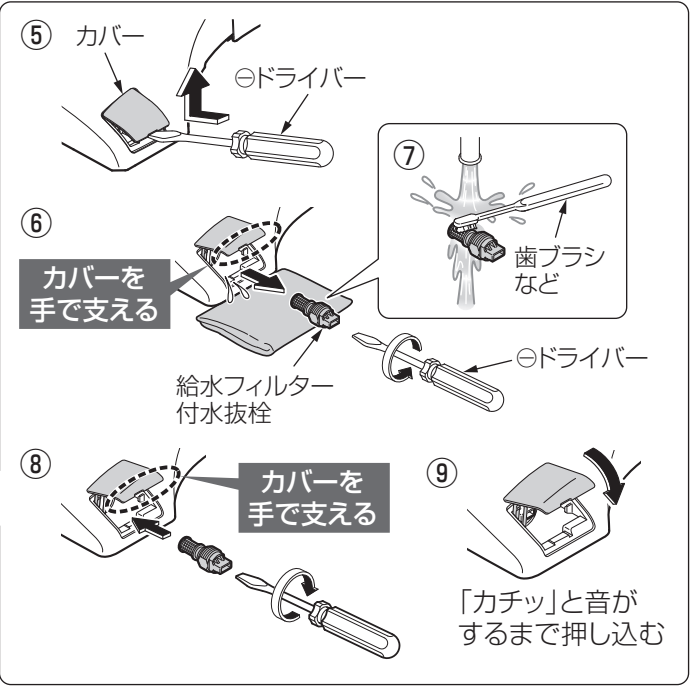
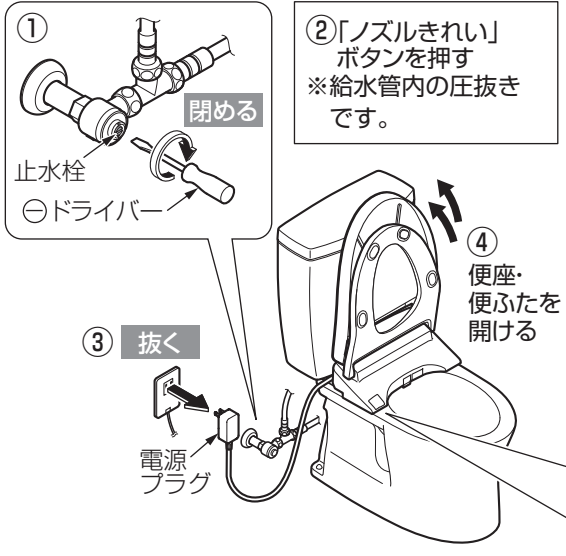
□ 便器洗浄しますか

オート便器洗浄付の場合

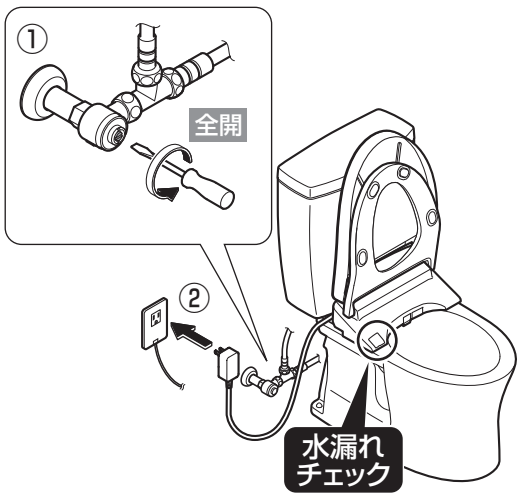
ウォシュレット専用便器洗浄ユニットに同梱の施工説明書に従い、試運転を行う

# 給水フィルター付水抜栓の掃除(試運転後)

1

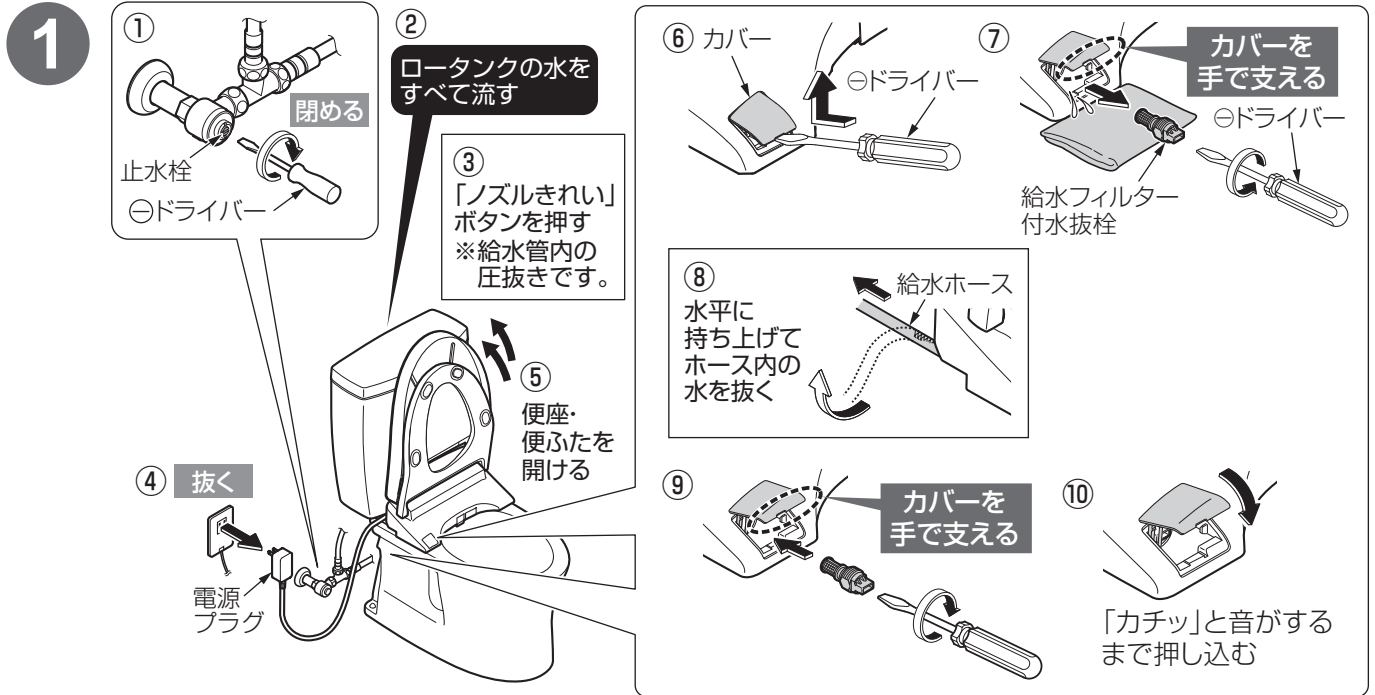


2



試運転他

# 製品引き渡しまでの期間が長い場合



■凍結のおそれがあるときは  
便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。  
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。)

## 施工業者様へ

- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。  
新築などお客様に製品を引き渡しまでの期間が長い場合は、止水栓を閉め、電源プラグを抜いてください。
- 給水ホースの取り回しについて、(URL) <https://search.toto.jp/contents/navi/> の「施工情報」→「ウォシュレット給水ホース取り回しのおすすめガイド」をご覧ください。



メーカー管理用です。

2026.1.15  
D07T49